

市川白彦 いちかわはくげん 佛教學者。明治二十五年一月二十八日岐阜縣加茂郡和知村生れ（一九〇二）。大正十四年滿濟京大學士卒。滿濟學院專門學校、學部兼教授を経て花園大學教授。禪學研究所所長。また、京都市教育委員、頁々務めたり。

譯著書に、ツエルバツキイ著『佛教折衷學概論』（譯註、改裝・昭和十一年四月二十日第一書房）、『盤詰禪師の研究』（合著・鈴木大拙編、昭和十七年十一月八日山喜坊佛書林）、『澤庵禪師之研究』（合著・禪學會編、昭和十九年二月二十日大東出版社）、『般若經―般若思想の現代への展開』（昭和二十一年十一月二十五日二一書房）、「二一書」）、『典型的日本』（合著・古田紹欽編、昭和二十四年二月二十日誠信書房）、『仏教者の戦争責任』（昭和四十五年十一月十五日春秋社）、『思い出の本』（合著、昭和五十九年十月十五日出版）、「一ス社」等。

